

4) 学校教育系施設

① 対象施設	
大分類	学校教育系施設
中分類	その他教育施設
対象施設	洲本給食センター、五色給食センター
② 対策の優先順位の考え方	
個別施設の状況 (劣化・損傷の状況や要因等)	<p>○洲本給食センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25(2013)年に建設。 ・平成30(2018)年頃から雨漏りが発生。 ・コンテナプールは部屋の広さに対して冷房設備の能力が不足している。 ・空調・電気設備は密閉空間で高温になる調理を行っていることから常に高負荷となり、劣化の進行が早い。 ・小規模修繕を行いながら衛生的な状態を維持している。 <p>○五色給食センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20(2008)年に建設。 ・空調・電気設備は密閉空間で高温になる調理を行っていることから常に高負荷となり、劣化の進行が早い。 ・小規模修繕を行いながら衛生的な状態を維持している。
当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等	<p>公立小中学校給食のため、その調理等の業務を一括処理する基幹施設である。(以下、令和6(2024)年度実績)</p> <p>○洲本給食センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校:洲本地域の小中学校12校 ・1日当たり配食実績数/調理可能数:約2,400/3,100食 稼働率:77.4% ・年間稼働日数:194日 <p>○五色給食センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校:五色地域の小中学校6校 ・1日当たり配食実績数/調理可能数:約700/1,200食 稼働率:58.3% ・年間稼働日数:194日
対策の優先順位の考え方	<p>児童・生徒数が減少傾向にあることから、状況を確認しつつ最終的に 洲本給食センターへ機能を集約する。</p>

③ 個別施設の状態等	
点検・診断によって得られた個別施設の状態等	<ul style="list-style-type: none"> ○洲本給食センター 健全な状態を維持している。 ○五色給食センター 将来的に統合予定のため点検不要とする。
個別施設の状態以外の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターは特殊な設備であることから設備への負荷が大き く、維持費用が大きくなる傾向にある。 ・機器・設備の故障は配食停止に直結するため、早い段階での更新 を見込む必要がある。
④ 対策内容と実施時期	
<p>児童・生徒数が減少傾向にあることから、市全体での配食数が洲本給食センターの調理可能数の8割程度になる頃を目途に、五色給食センターの機能を洲本給食センターに集約する。調理可能数とは別に、現状（令和7年3月末時点）の12校で稼働率が100%となっているコンテナプールの面積不足があり、洲本給食センターの機能集約には、学校の統廃合が先行する必要がある。</p>	